



# COOP JOSO News Letter

常総生活協同組合  
発行 / 生協広報G

【ものづくり・人づくり・地域づくり】2018 年度活動テーマ ～素材を活かしてわが家の味～

## もうすぐみそづくり

今週 1 月 1 回の注文用紙は、  
・ 年内に回収します (12/23 ~ 27)。  
・ お届けは 1/7 月 ~ 1/11 金です。



### その前にまずは

# みそ開き



年が明ければ毎年恒例の「手作りみそ月間」が始まります。例年、750 人の組合員が約 2 톤の地場産大豆を使ってみそづくりに取り組みます。その前に…

昨年仕込んだみそは開きましたか？

供給担当者も昨年仕込んだみそを開き、今年の出来栄を確認しました。例年に比べて色合い良く、味も「うんまい！」と一同感激！

まだ開いていないご家庭は、ぜひ開いて、

まずは美味しいお味噌汁で。

## 平成 30 年 大豆栽培状況報告

(商品部 小宮山)

～今年の大豆は柘植 (石岡市) さんにお願ひしました。～

### 今年の大豆栽培は不作に . . . .

### 「猛暑」「台風」と厳しい年になりました。

大豆の奨励金制度がない中、JA やさと営農課の方から紹介をいただき、今年初めて常総生協とお付き合いとなった柘植 昭 (つげ あきら) さん。



#### ■栽培方法は今まで通り

柘植さんはとても気さくな方で、常総協の取り組みについても理解をしてくれました。種は「里のほほえみ」となります。一方でやさと在来の青大豆も一緒に作付をしてもらいました。

(栽培法は初期除草剤 1 回、夏場の殺虫剤なし、色彩選別なし)。

# 11/29(木)東海第二原発運転差止訴訟第23回口頭弁論を傍聴してきました！ (関東子ども健康調査基金 共同代表 木本さゆり)

- 1、これまでの経過
- 2、「今回の主張 2つ」
- 3、「傍聴席」について思うこと
- 4、今後の裁判スケジュール

## 1、東海第二再稼働へ向けての これまでの経過

国・規制委員会は、① 9月26日：設置変更を許可、② 10月18日：工事計画認可、③ 11月7日：運転期間延長及び保安規定（高経年化技術評価含む）を認可しました。

注目を集めたのは、原電が今年3月に新たな安全協定で「実質的な事前了解権」を認められた周辺6市村の再稼働可否判断でしたが、日本原電の和智（わち）副社長が「(6市村との新協定に)拒否権という言葉はない」と発言し、反発を受けて撤回謝罪したものの、結局「拒否権がある」とは言わず、あいまいにしたままになっています。

裁判では「国」は規制基準の正当性を主張するばかりで原告側の具体的主張に対して一切反論しない戦術によって審理を遅らせ、原告の請求（許可してはならない）を事実上無効にしていきました。同じく、被告「日本原電」は「運転するかどうかは社内で決まっていない」「許可が下りないと反論できない」として反論を引きのばし、裁判長からも早く認否・反論をするよう、注意を受けているところだそうです。

ここで思うことは、「地域住民に反対を言わせない、自らも再稼働するしないを表明しない、裁判では喋らないことで議論の俎上にもものせさせないってどうこと??」?と思うわけです。こんなに住民をないがしろにした態度ってあるのでしょうか。工事を進めて再稼働を既成事実化させる気なのではないか、ということが今一番懸念されています。

原告団ではく裁判をこれ以上引き延ばされるわけにはいかない>と判断し、去る9月13日に臨時総会を開いて、これまで「国と日本原電」を相手どって（行政訴訟と民事訴訟の2本立て）闘争してきたところを、「日本原電」に絞って民事訴訟に集中することを決めました。

## 2、今回の原告側の主張は2つありました。

1つは、『東海第二の基準地震動は、過小評価であること』です。（只野弁護士）

本来、原発は極めて危険な施設であり、その安全性は最大限に確保しなくてはなりません。日本で密な強震観測網が構築されたのは、1996年（阪神淡路大震災以降）以降で、2011年の東北地方太平洋沖地震で初めて大地震の実測データを得た経緯があります。この実測データを基に、現在港湾など重要施設で耐震基準設定に用いられているのが最新の「SPGAモデル」なのですが、東海第二は1996年以前の旧式モデルである「SMGAモデル」を用いています。このモデルでは2011年に実際観測された「強震動パルス（建物や機器に衝撃を与えるパルス状の強振動）」を再現できず、実際より小さく見積られる点が問題です。安全性を最大限に確保すべき原発の耐震基準策定にふさわしくないモデルを採用して、過小評価している点を主張しました。

2つ目の主張は、『日本原電は津波漂流物による危険についての想定が不十分であること』です。（丸山弁護士）

東海第二原発周辺4km圏内に、大型タンカーが往来する「重要港湾」があるサイトにも関わらず、津波発生時の漂流物は漁船しか想定されておらず、大型船舶漂流への対策は考慮されていないことを主張しました。

只野弁護士はSPGAモデルを理解するため、国立研究開発法人 港湾空港技術研究所野津厚氏の論文178本をすべて読んで今回の弁論に臨んだそうで、私はその熱意に感動してしまいました。・・・この主張は判決に導く核心的な論点と弁護団は考えていて、とても力が入っていました。（弁護士さんかっこよかった）それにしても、技術的、科学的主張で闘うのはたいへんなことだと思いました。

## 3、傍聴席について思うこと

東海第二訴訟の傍聴席は23回も裁判をやっているのに、いつも満席をキープしています。弁護士さんに言わせると、これってすごいことだそうです。

す。ちなみにいつも「大法廷」というお部屋なんです。傍聴席は70席くらいあります。そのうち記者席は5席くらい。被告側の傍聴席も5席くらい。残りは全部原告側（原告と賛同人）の傍聴席です。はじめは原告と被告の席は半々だったそうですが、原告人数が多くて被告側が少なかったため変わってきたそうです。

裁判の傍聴席（法廷内で裁判を聞く席）って、抽選なんです。法廷が開かれる1時間前に受付して、30分前に抽選発表があります。（今回私は当たりました♪でも伊藤専務はハズレてしまいました。）水戸地裁へわざわざ行っても傍聴できない場合もあるわけです。今回参加者は66名でした。中に入れず外で待つ方もわずかにいらっしゃいました。でもこれも裁判長や被告へのプレッシャーになり、大事なことだそうです。

#### 4. 今後の裁判スケジュール

2019年（来年）2月の口頭弁論までで原告らの主張を打ち切って、論点整理・証人尋問に入ります。

同時に仮処分を申し立て、現在の前田英子裁判長の任期中に（2021年3月末まで）本訴判決と仮処分決定を求めていくとの事です。結審までに裁判長には福島現地検証と、東海第二プラント、周辺状況現地証拠調べも求めていく考えだそうです。（なんとしても行ってほしいです）

今回の口頭弁論は2019年2月14日（バレンタインデー）木曜日

14:30から水戸地裁です。原告側最後の主張となる今回は、弁護士、原告合わせて6名が主張に立つ予定です。河合弁護士、常総生協大石顧問も主張する予定です。

#### 運転差止を勝ち取ってほしいです！

同時に、首都圏の住民が東海第二の再稼働はいやだー！と声にしていかないと止められないと思います。周囲の方に、「あれは動かしたら危ないんだよ」と、どンドン言っていきましょう。

## 第81回 脱原発と暮らし見直し委員会 報告

2018年12月3日（月）常総生協本部組合員室 13時半～16時 組合員10人参加。  
チーム活動報告のほか、ヨウ素剤配布、東海第二原発裁判などについて情報交換しました。

### ★チーム活動報告

#### ○市町村のセシウム測定データ収集

全国の調査状況を確認しました。ジビエ料理が話題になっていますが、関東・東北のイノシシ肉などから高い値が検出されています。出荷制限が出ていない地域もありますのでご注意ください。

#### ○DVD貸出

ニュースターに感想文「小さな上映会便り」を掲載予定です。

#### ○土壌調査

10月に取手で採取した土壌をこれから生協で測定します。測定結果が出ましたらお知らせします。

★2019年2月10日（日）のヨウ素剤配布会の準備を進めています。お手伝いいただける方は生協までご連絡ください。

★各自治体にヨウ素剤の準備状況などを問い合わせる活動を行いました。龍ヶ崎市、牛久市、つくば市、松戸市、我孫子市など。いずれの自治体も、避難計画やヨウ素剤の備蓄・配付の具体計画はないようです。避難者の受け入れ計画もこれからのところが多いようです。

★次回は、1/11（金）13時半～16時（生協本部）の予定です。

委員会はどなたでも自由に参加できます。関心のある方はお気軽にお越しください。



# ♪みそ作り会&味噌開き会のお手伝い募集♪ ～毎年恒例「出張食育講座」が始まります～



常総生協では、毎年、地域の幼稚園に出向いて「出張食育講座」を行っています。  
常総生協の食材を使用し、園児が年中さんの時に味噌を仕込み、一年後の年長さんで味噌開き。

「お豆つぶすの～?」「お豆団子できた!」「これがみそ?!」など、

園児と保護者の食への興味と率直な感想が私たちを笑顔にしてくれます。

その味噌で豚汁を作り、安心・安全な食材を選ぶ大切さ、手作りの楽しさ・美味しさ、  
食への興味や慈しみ、「食は命」を伝え続けています。

先輩組合員から、子どもたちへ、そして次の世代へ。

園児のみそ作り&みそ開きを応援して下さる組合員の方をお待ちしております。

※今年初めての取り組みとなる「母親クラブ」さん「どろんこ保育園」さんはみそ作りのみになります

お手伝い内容；みそ作り&豚汁作りの準備

(材料の分配、野菜の下準備・切り分けなど)

会場&日程；下記参照

時間；9時30分～13時ごろ

※現地集合可、交通費・じょうそう券支給、昼食あり

※天候(大雪など)、学級閉鎖等で中止の場合あり



学校法人沼田学園  
牛久幼稚園  
(牛久市上柏田3-8-3)  
味噌作り&味噌開き

学校法人沼田学園  
荒川沖幼稚園  
(稲敷郡阿見町本郷3-27-1)  
味噌作り&味噌開き

母親クラブ  
(つくば市並木4丁目2-1)  
味噌作り

どろんこ保育園  
(つくば市下平塚845-1)  
味噌作り



## ■牛久幼稚園でお手伝いできます♪

・お手伝いできる日程に○をつけて下さい。

- ( ) 2月 8日(金)みそ作り ( ) 2月13日(水)みそ開き
- ( ) 2月12日(火)みそ作り ( ) 2月14日(木)みそ開き
- ( ) 2月15日(金)みそ開き

## ■母親クラブでお手伝いできます♪

・お手伝いできる日程に○をつけて下さい。

- ( ) 1月25日(金)みそ作り

## ■荒川沖幼稚園でお手伝いできます♪

・お手伝いできる日程に○をつけて下さい。

- ( ) 2月21日(木)みそ作り ( ) 2月19日(火)みそ開き
- ( ) 2月22日(金)みそ作り ( ) 2月20日(水)みそ開き

## ■どろんこ保育園でお手伝いできます♪

・お手伝いできる日程に○をつけて下さい。

- ( ) 2月2日(土)みそ作り

○コース・班名 \_\_\_\_\_ ○お名前 \_\_\_\_\_

○組合員番号 \_\_\_\_\_ ○電話番号 \_\_\_\_\_ ○参加人数: 大人 \_\_\_\_\_ 人

※切: 1/18(金)

TEL ; 0297-48-4911

FAX ; 0297-45-6675